

下記機関での診療情報および診療時に採取・保管された検体の提供を受け、当センターにおいて下記研究に用いることになりましたのでお知らせします。

記

1. 研究責任者	柳田 正光
2. 研究課題名	同種造血幹細胞移植において移植方法が移植後の経過に及ぼす影響の時間依存性解析: 寛解期急性骨髄性白血病での検討(2019-1-083)
3. 研究の目的・方法	急性骨髄性白血病に対する同種造血幹細胞移植療法において、移植前処置、ドナー種類、幹細胞源といった移植方法が移植成績に及ぼす影響について、移植日から経過した時間を考慮した検討を行う。  研究期間: 2019年7月12日から2021年12月31日まで (遺伝子解析:行わない)
4. 研究の対象となる方	日本造血細胞移植学会一元管理データベースに登録されている2000年1月から2016年12月の間に、(1) HLA適合同胞の骨髄もしくは末梢血、(2) HLA適合非血縁者の骨髄、(3) HLA-A, B, DR血清型4/6以上適合かつ有核細胞数 $2.0 \times 10^7 / \text{kg}$ 以上の単一ユニット臍帯血のいずれかを用いて、第一寛解期もしくは第二寛解期で初回同種移植を施行した年齢16歳以上の急性骨髄性白血病の患者。
5. 研究に用いる検体・情報の種類	検体名( ) 診療情報内容(診断情報, 移植情報, 転帰等)
6. 他機関からの提供方法	日本造血細胞移植学会一元管理データベースに登録されている既存情報を、匿名化した後に研究責任者に提供する。
7. 提供を行う者の範囲	日本造血細胞移植データセンター(熱田 由子)

- ① この研究の科学的妥当性と倫理性は、当センターの倫理審査委員会などにおいて厳重に審査され、承認されています。  
個人情報のお安全保護については、万全の体制下にて管理され実施されます。  
また、調査項目は既存のデータであり、何らかの負担を生じることはありません。
- ② 具体的な研究内容を知りたい、あるいは、今回の研究に用いること、提供を拒否したい場合には下記の問い合わせ窓口までご連絡下さい。

★お問い合わせ★

愛知県がんセンター 臨床試験部試験支援室  
倫理審査委員会事務局  
住所 : 〒464-8681 名古屋市千種区鹿子殿1番1号  
FAX : (052-764-2963)  
e-mail: irb@aichi-cc.jp  
(お問い合わせは、FAX、e-mail 又は郵送でお願いいたします。)